

# つばき 取扱説明書 ケーブルベヤ<sup>®</sup>

# TKHC56H33 · TKHC67H46

(注) 作業の際には適切な保護具 (安全眼鏡、手袋、安全靴など) を着用してください。

#### 1 構造・名称



### 2 納入状態

移動端ブラケット、固定端ブラケットはケーブルベヤ本体 に組込んで納入します。

仕切板、ブラケット用クシ歯形ケーブルクランプ、ブラケット 用クランプレールは、通常、部品にて納入します。 なお、ケーブルベヤ本体が定尺長さ(下記リンク数)を 超える場合は、分割して納入いたします(右の写真参照)。

【定尺長さ(リンク数)】

• TKHC56H33: 72 リンク • TKHC67H46: 60 リンク

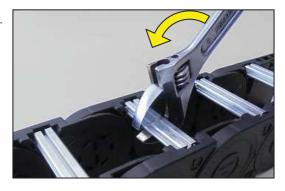


分割状態

#### 3 ステイの取外し

※外周側、内周側とも同じ要領です

モンキーレンチなどでステイをはさみ、矢印方向に回転させると リンクからステイが外れます。

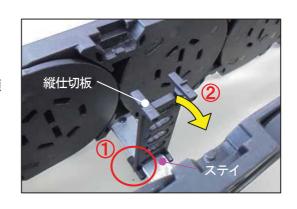


#### 4 縦仕切板の取付け

縦仕切板はケーブル・ホース挿入時に取付けます。

外周側のステイあるいは内周側のステイを取外した状態で以下の手順 で縦仕切板を取付けてください。

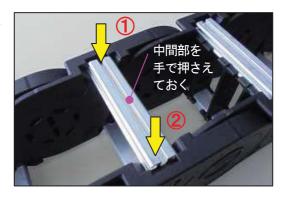
- ①縦仕切板の一方の係合部を、内周側あるいは外周側のステイ に引っ掛けます。(右写真〇印)
- ②縦仕切板のもう一方の係合部を矢印の方向に押し込みます。



#### 5 ステイの取付け

※外周側、内周側とも同じ要領です

ステイ両端をリンクとの取付け部に合わせ、ステイ中間部を手で押さえた状態で、プラハンマーでステイ端部(①、②) を順にたたいてリンクに取付けます。

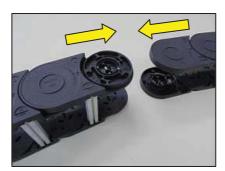


#### 6 本体の連結

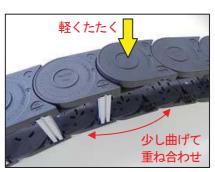
※ブラケットの取付けも同様の要領です



①移動端側の連結部から2リンク 以上の外周側及び内周側のステイ を外します。



②矢印の方向に押し込みます。

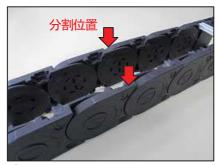


③少し曲げて(5°程度)合わせ、 リンク部を手で強く押すか、プラ ハンマーで軽くたたいてください。

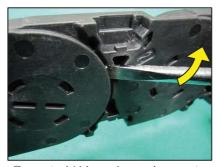
※リンク連結後、内周側及び外周側にステイを取付けてください。

# 7 本体の分割

※ブラケットの取外しも同様の要領です



①分割位置の両側各2リンク以上の 外周側及び内周側のステイを外し ます。



②リンク連結部のドライバーマーク 先端の凹部にマイナスドライバー (先端幅 4mm 程度) 差込み、矢印 方向こじるとリンクが外れます。



③両側のリンクをそれぞれ切り離し 本体を分割します。

## 8 クシ歯形ケーブルクランプ・クランプ用レールの取付け

取付けの際は、ブラケットの取付け側(外周側あるいは内周側)のステイを取外してください。

#### ●クシ歯形ケーブルクランプの取付け





#### ケーブルを固定した状態例



(注) 結束バンドは貴社にて ご用意願います。

#### ●クランプ用レールの取付け





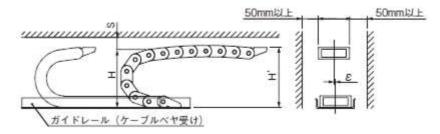
ケーブルを固定した状態例



(注) ケーブルクランプ 「LineFix」を別途 ご注文いただく必要 があります。

#### 取扱上の留意点

ケーブルベヤには、ご使用によっては、フリースパン部にふくらみやたわみがあらわれますが、当社能力線図内で選定 されている場合は、使用上問題ありません。



- 1. ケーブルベヤの設置高さ(H') は、 総高さ H+(10~30) mm としてください。
- 2. 余裕空間 (S) は、100mm 以上 としてください。
- 3. ガイドレールを取付けてください。
- 4. 移動端ブラケットと固定端ブラケットの取付面誤差(ε) は、6mm 以下にしてください。
- 5. ケーブル・ホースは屈曲性、耐摩耗性に優れた移動用 のものをご使用ください。
- 6. ワイヤーブレード外装のものは、いたみやすいことが あるので、使用を避けてください。
- 7. ケーブル・ホースは積重ねて使用すると摩耗が生じ やすいので、横に並べるか、横仕切板をご使用くだ さい。
- 8. ケーブル・ホースは長さに余裕をもってセットし、 適正な長さに調整のうえ、両端部でクランプしてく ださい。
- 9. ガイドレール内に異物があると、破損の原因になり ますので取除いてください。
- 10. 次の部品は部品送りといたしますので、取付け時に 組み込み願います。
  - 仕切板
  - クシ歯形ケーブルクランプ
  - クランプ用レール
- ◎プラブラケットの取付面に凹凸があると、ブラケットが破損する場合もありますので、なるべく滑らかな平面に取付け 願います。また、プラブラケットの取付ボルトを締めすぎると破損する場合もありますので下記推奨締付トルクにて締 付け願います。

ボルトサイズ	推奨締付トルク
M5	1.5 N⋅m
M6	2.6 N⋅m